

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立青毛小学校

【取組内容①】算数科を中心とした自由進度学習における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【6年生算数科の取組】

・スプレッドシートを活用した学習計画表

算数科では、単元ごとにスプレッドシートで学習計画表を作成し、児童はこの計画表を見ながら学習を進めていた。学習計画表には、学習活動や教科書参考ページ、計算ドリルなどの実施ページを載せることで、一人一人の児童がそれぞれのめあてをもって、毎時間の授業に臨むことができていた。

また、友達の学習計画表も見ることで、自分のめあてや振り返りを記述する際に活かしたり、自分の進度を気にしながら学習したりするなど、自己調整力を高めることにもつながっている。

・学ぶ場の設定

学習する場も、毎時間自分で選択させた。（個人で・友達と・先生と）そうすることで、それぞれのペースで学習を積み上げることができていた。個人の取組は、学習支援ツールや画面取得機能を使って教師も確認し、一人一人の理解度を図るようにした。

算数「データの活用」
めあて 学習のまとめをし、**わかる**を増やそう！

学習計画：テストまで、残り『1(1.5)』時間！！
できたものは先生丸付け。
→次のステージへ！
わからないときは...？

黒板

ショートテスト	ショートテスト	計算ドリル	P.190～191 (ノ...
P.190～191 (ノ...	P.190～191 (ノ...	P.255マ (ノート)	P.190～191 (ノ...

学習のまとめの際には、座席表にしたスプレッドシートを活用した。自分の取組段階をプルダウンで選択することで、見通しをもって、学習することができた。
また、児童の意欲付けにもつながった。